

<相談支援部会：平成29年度事業計画の評価>**1. 「地域の療養情報」2017年版の作成**

計 画：「地域の療養情報 2017年版」の配布を行い、2018年版の作成協力する。

実 績：作成ワーキングに部会委員を推薦し、作成に協力した。完成は、3月31日を予定している。

評 価：10点

2. がん相談支援センターの広報

計 画：院内外の患者家族および地域住民に対し、チラシ配布やラジオ番組等で、広報を行う。

実績：普及啓発部会と連携し、部会委員がラジオ番組へ出演し、相談支援センターの利用やハンドブックの活用などの広報活動を行った。また、各種イベント時に相談支援センターのチラシの配布と地元新聞2社への無料広告掲載を継続的に行った。

評価：7点

3. 患者サロンネットワーク会の開催

計 画：患者サロン・患者会間の情報交換会を開催する。

実績：平成30年3月10日に、県内の患者サロン間の情報交換会を開催し、活動報告と課題について共有する予定。

評 価：5点

4. 就労支援関係者との意見交換会の開催

計 画：就労支援に関する事例に関して、社会保険労務士等との研修会や意見交換会を開催する。

実績：平成29年5月15日開催のハローワーク見学会について部会でも周知し参加した。また、沖縄県産業保健総合支援センター両立支援促進員との連携事業についても協議し、5拠点病院で連携を開始した。さらに、部会員が参加した「沖縄県両立支援推進チーム」会議への参加と、作成の両立支援に関するチラシを各相談支援センターを通じて配布した。

評 価：7点

5. 相談センター満足度調査の実施

計 画：相談センター認知度調査をもとに、満足度調査表を作成する。

実績：患者満足度調査の実施内容について協議し、まずは相談支援センター活動評価指標の一つとして相談件数集計シートを見直し、参加病院を現在の4病院から6病院に広げるよう検討した。

評 価：4点

6. 県内の相談支援センターチェックリストの作成

計 画：県内の相談支援センターから提供されるサービスの質が担保される。

実績：平成29年3月末までに、都道府県情報提供・相談支援部会PDCAサイクル作業部会作成のがん相談支援センター指標リストをもとに、拠点病院相談支援センターの活動内容について評価を行った。

評 価：5 点

7. がん相談員実務者研修会の運営

計 画：各拠点病院主催で年 3 回以上、がん相談員を対象とした研修会を開催する

実 績：①10月21日（土）開催「精神疾患とがん」県立中部病院、北部地区医師会病院主催（参加者数計26名）

②12月16日（土）開催「知的障害・発達障害とがん」琉球大学医学部附属病院、県立八重山病院主催（参加者数計17名）

③2月3日（土）開催予定「高齢者がん患者とその家族への支援」那覇市立病院、県立宮古病院主催

評 価：9 点

8. 相談支援部会活動報告

計 画：部会委員が相談支援部会の活動実績を学会等で報告する。

実 績：都道府県がん診療連携病院連絡協議会第 9 回情報提供・相談支援部会にて地域相談支援フォーラム in 沖縄について報告した。

評 価：9 点

9. 県内セカンドオピニオンリストの作成・公開

計 画：県内のがん診療を行っている病院のセカンドオピニオンリストを作成し公開する。

実 績：県内のがん診療医療機関へセカンドオピニオン体制に関する調査を行い、10月に実施医療機関リストを協議会ホームページにて公開した。今年度より、医療機関別に加えて疾患別リストも作成し公開した。

評 価：10 点